

# くらしの 情報館

ホームページアドレス  
<http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/>  
 ☎=問い合わせ先  
 内=内線番号  
 ◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎21111  
 ◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎21111  
 ◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎42111  
 ◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎342111

## 募集

### 起業支援室入居者

個人で新たに事業を始めようとお考えの方へ、起業支援室を貸し出します。入居期間中は、事業が軌道に乗るよう起業相談員が無料でサポートします。

- 応募期限 1月31日(火)まで(入居審査あり)
- 所在 市産業プラザ産業支援センター(道場小路)
- 募集数 2室
- 利用料金 月2万2、800円(別途管理料 月3、000円)

### 市循環バス愛称

市循環バスは、4月から運行路線の変更を予定しており、それに伴い親しみやすい愛称を募集しています。

- 募集期間 1月4日(水)～31日(火)
- 募集内容 ①市循環バスの愛称としてふさわしく、分かりやすいもの  
②白河の歴史、伝統、文化および風土など白河市にゆかりを感じさせるもの  
③呼びやすく、親しみやすいもの  
④応募作品は自作未発表のもので、第三者の著作権、商標権を侵害しないもの  
⑤公序良俗に反しないもの
- 応募資格 市内に在住または通学・通勤をしている方
- 応募方法 本庁舎地域支援課または市ホームページにある様式にご記入のうえ、Eメール・FAX・郵送などでご応募ください。

### 白河准看護学院学生

- 受賞商品 ▼最優秀賞(1人) 図書カード1万円相当  
▼優秀賞(2人) 図書カード5、000円相当
- その他 採用作品に関する一切の権利は本市に帰属し、応募作品の返却はしません。
- 本庁舎地域支援課 内2257

● 受験資格 高等学校卒業(見込みを含む)、または同等の学力を有する方(中学校卒業でも履修が可能と認められる方を含む) ※年齢不問

- 定員 30人
- 試験科目 国語、数学、作文、面接
- 試験日 2月2日(木)
- 試験会場 白河医師会白河准看護学院(北中川原)
- 受付期間 1月10日(火)～26日(木)(郵送は期間内必着)
- ※受験要項・出願書類を郵送希望の場合は、送付先の住所・氏名を記入のうえ、140円切手を貼った角2号封筒を同封してお申し込みください。
- 白河医師会白河准看護学院 〒961-0054 白河市北中川原31-614

### パソコン教室

3/☎233701

《夜間初級コース》

- 日時 2月15日(水)～3月26日(月)(毎週月・水・金曜日) / 午後6時30分～8時30分
- 申込受付日時 2月8日(水) / 午前9時～午後6時
- 会場 市産業プラザ人材育成センター(中田)
- 受講料 1万円
- 定員 20人(定員を超えた場合は受付日の午後6時から抽選)
- 申込方法 受付時間内に申し込み後、午後6時に受講料を持参し、再度センターへ同センター ☎233512

## 案内

### 医療費のお知らせ

9月診療分以降の「医療費のお知らせ」は、作成システムの変更に伴い、3月上旬頃の送付となります。

- 本庁舎国保年金課 内2172

### 図書館ボランティア講座

図書館とボランティアについて、多数講演をされている後藤暢さん(元国会図書館勤務・元専修大学文学部教授)を招き、講演会を開催します。興味のある方は、お気軽にご参加ください。

- 日時 1月15日(日) / 午前10時～正午
- 会場 市立図書館中会議室1・2(道場小路)
- 講演 図書館とボランティアの面白い関係
- 定員 120人
- 申込方法 事前に市立図書館に電話していただくか、直接窓口でお申し込みください。
- 市立図書館 ☎233250

### 文化財防火デー

毎年1月26日は、文化財防火デーです。

貴重な文化財を災害から守るため、市教育委員会および白河消防署では、地元消防団の協力を得て、次の日程で防衛訓練を行いますので、ご協力をお願いします。

なお、当日は、消防署員および消防団員が出勤しますので、注意ください。

- 日時 1月22日(日) / 午前10時から
- 場所 大名家墓所(円明寺)
- 本庁舎文化財課 ☎272310

### 第17回中山義秀文学賞

#### 贈呈式・受賞記念講演会

第17回中山義秀文学賞を受賞した「孤鷹の天」の著者である澤田瞳子さんによる「受賞記念講演会」を開催します。

- 日時 1月21日(土) / 午後1時30分から
- 会場 市立図書館多目的ホール(道場小路)
- 講演 奈良・平城京を考えた

### 子ども緊急サポートスタッフ会員養成研修会

- 日時 1月28日(土)～31日(火) / 午前10時～午後5時
- 会場 市産業プラザ人材育成センター(中田)
- 受講料 3、000円(テキスト代)
- 定員 50人(先着、託児あり)

※受講後はスタッフ会員として登録活動できます。

### 「木造住宅耐震診断者派遣事業」による診断希望者

市では、耐震診断を行う建築士を派遣する「木造住宅耐震診断者派遣事業」を実施し、耐震化対策を支援します。

- 募集戸数 5戸 ※先着順

### 心の健康セミナー

- 募集期間 1月10日(火)～20日(金)
- 対象住宅 次の要件をすべて満たす、市内に建てられている木造住宅  
①所有者が自ら居住する専用住宅または併用住宅  
②昭和56年5月31日以前に着工された戸建て住宅  
③在来軸組工法、伝統的工法、枠組壁工法等により建築された木造3階建て以下の住宅  
④過去にこの事業による耐震診断を受けていない住宅
- 個人負担額 6、000円
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎建築住宅課 内2265

- 日時 1月23日(月) / 午後2時～4時
- 場所 サンフレッシュ白河(久田野)
- 内容 講演「震災によるストレスから心の健康を守るために」 講師 武蔵野大学人間関係学部教授 藤森和美氏
- 定員 90人 ※入場無料
- 申込期限 1月16日(月)まで
- 申し込み・問い合わせ先 県南保健福祉事務所 ☎225649

平成24年 2月1日(水)

## 経済センサス活動調査

すべての企業・事業所が対象の調査です。調査票は、1月末日までにお届けします。調査へのご回答をお願いします。

本庁舎企画政策課 内2328

## 後期高齢者医療制度に加入している皆さんへ

### ■医療費が高額になったとき（高額療養費）

医療機関の窓口で支払った1か月の自己負担限度額が下表の限度額を超えた場合、高額療養費の口座登録の申請をすることで、限度額を超えた分が「高額療養費」として支給されます。

高額療養費の口座登録を一度行えば、次回からは該当した月があれば、自動的に登録した口座に振り込まれます。

なお、高額療養費は「福島県後期高齢者医療広域連合」より支給されます。

(注)食事代、病衣着・差額室料等保険対象外のもの、介護保険利用料は含みません。

世帯区分	外来 (個人単位)	外来+入院 (世帯単位)
現役並み所得者	44,400円	80,100円+(医療費-267,000)×1% ※4回目以降の場合44,400円
一般	12,000円	44,400円
低所得者Ⅱ	8,000円	24,600円
低所得者Ⅰ		15,000円

現役並み所得者⇒住民税の課税所得が「145万円以上」の被保険者がいる世帯に属する方

低所得者Ⅱ⇒世帯の全員が住民税非課税の方

低所得者Ⅰ⇒世帯の全員が住民税非課税で、かつ年金収入等がそれぞれ80万円以下の方

■本庁舎国保年金課 内2175

## 案内

### 飲用井戸水の放射能検査

1月4日から井戸水の放射能検査の申込方法が変わります。本庁舎生活環境課・水道部・各庁舎・各行政センターに予約無しで持ち込みが可能となりました。1ℓ以上のペットボトルに水を入れて平日

の午前9時から午後5時まで  
に持参してください。  
■水道部 ☎273221

### 初心者茶道教室

お茶とお菓子をいただきます。お茶と、茶会でのあいさつなど一連の動作を体験しませんか。  
●日時 1月31日(火)、2月7日(火)・14日(火)・21日(火)／午前9時～正午  
●会場 南湖公園「翠楽苑」

- 受講料 ▼4回分 3,000円(入園料等も含む)
- 定員 10人 ※先着順
- 申込方法 1月4日(水)から受付開始(電話申込可)
- ※平服でお気軽にご参加ください。
- 翠楽苑 ☎236888

### 東日本大震災による倒壊等建物の滅失登記

福島県地方自治体では、震災により、倒壊・流失した建物について、被災された方々の負担軽減を図るため、建物所有者からの申請によらず登記官の権限により滅失登記を行います。

- 調査期限 3月下旬まで
- 調査場所 市内全域
- 調査方法 福島県地方自治体から委託を受けた事業者が、原則として建物の外観から調査を行います。滅失の判断に必要がある場合は、面談等を行うことがあります。
- 通知 滅失登記を行ったときは、登記簿上の所有者に通知します。
- 費用 法務局が負担します。

### 第四期地域協議会委員および地域づくり協議会委員を募集します

市では、地域自治区や白河地域に、市民の皆さんからの地域に対する意見、提案などの検討、取りまとめや市長等の諮問に応じ意見を述べることのできる組織として地域協議会を各地域自治区に設置し、白河地域には同等の機能を持った地域づくり協議会を設置しています。

広く市民の皆さんの意見を市政に反映させるため、一般公募の委員を募集しますので、地域自治区や白河地域の活性化に関心をお持ちの方からの応募をお待ちしています。

- 応募資格 市内に住所を有し、在住する満18歳以上(平成23年4月1日現在で高校生を除く)
- 募集人数 各地域協議会および地域づくり協議会ともに若干名
- 応募期間 1月16日(月)～2月13日(月)
- 応募方法 応募申込書(指定様式)および作文(テーマ「地域活力の向上を図るには」)を、本庁舎地域支援課・各庁舎総務課に提出してください。市ホームページをご覧ください。

■本庁舎地域支援課 内2256

### 雑損控除等の個別相談

震災により住宅や家財などに被害があった場合、損失額を所得金額から差し引くことで、税の軽減を受けられる場合があります。

の算定について個別の相談を行いますのでご利用ください。なお、損失額の算定には時間を要します。必ず予約してからお越しください。予約の際に必要な書類等について説明します。

- 日時 1月10日(火)～31日(火)／午前9時～午後4時
- 本庁舎課税課 内2127
- 各庁舎総務課 表郷 ☎2112
- 大信 ☎462113
- 東 ☎342112



『名もなき英雄たち』  
白河市長 鈴木 和夫

原発事故後に消防・警察・自衛隊で献身的行動をとった「福島英雄たち」へ、スペイン皇太子賞が授与されました。大震災に、冷静かつ責任を持って対処した多くの名もなき英雄に対する賞賛です。

震災直後、上りの新幹線が大谷地で急停止した。自動制御技術の高さに敬服するとともに、乗客を中央中体館に避難させた駅長らの迅速な働き。市内の工場も大きく被災した。交通・通信もままならない中、泊り込んで事にあたる土気旺盛な社員と的確な工場長の指揮。目を見張るほどのスピードで回復させた。東北六県の主要国道・河川を管理する国交省東北整備局。地震で各地からの映像が切れた。被害状況が分からず混乱する中、ある職員が「局長、ヘリコプターを使いましょう」と提案。即座に指示し、ヘリコプターからの撮影で全体を把握。通行不能となった、三陸の生命線国道45号を総力をあげ短時間で復旧。判断が遅れていた津波にのみ込まれた仙台空港からは飛べなかった。驚嘆すべき現場の力です。隠れたヒーローが各地にいました。「一隅を照らすは国の宝」。アサヒビールのスーパードライは起死回生のヒットとなった。社長はいう。マーケティング・品質設計・生産・営業の歯車がうまくかみ合った。だから「社員全部でつくった」と各々が縁の下の力持ちとなり、自分の役割を果たすことで大きな力を発揮する。会社

は「名もなき英雄」が支えています。

市内八つの中学生との懇談会をひとと終えました。皆さんキラキラした瞳で聴いてくれました。これまで気づかなかったり、答えがすぐに出せないような鋭い意見があったり、私にとってもいい勉強の場になりました。私自身、中学生の頃も悩んだが、今でも毎日悩み迷っていること。やがて世界で活躍しようとも、出発点は白河であり、その歴史や伝統に誇りを持つこと。また「偉い」とは何かを問いかけた。社会的地位にあるから、裕福だから偉いとはいわない。家庭を守り、懸命に働き、地域の行事に汗をかく。自分の役割を自覚し、力の及ぶ限り誠実に果たそうとすること、これこそが「偉い」との思いを話した。

近頃、よく「少年よ、大志を抱け」の意味を考える。一般的には、近代化を目指す明治の精神と重なり、「立身出世」と理解されている。と同時に、この言葉にはよく働き・祈り・礼節をわきまえ、明治日本の礎となるようにとの、クラーク博士の願いが込められているように思える。

首相は中間層を厚くすることの必要性を力説している。社会の中間層とはこういう人々を指しており、ここに位置する人たちの、労働・金銭・文化・宗教に対する価値観が、国のイメージを形づくっている。20年来の、構造改革や市場主義で格差が広がり、中間層がぐんと薄くなった。これが社会を不安定にしている要因でもある。幕末から明治にかけて日本を訪れた外国人は、日本人に対して同じような印象を残している。「彼らの礼節・素朴さ、勤勉・器用さ、質実さは優れた美德であり、日本の飛躍を暗

示している」。名もなき英雄こそが社会を支えています。

過日、政府は原発の冷温停止状態を宣言しました。しかし、誰も原子炉の中を見た者はおらず、再臨界の恐れがないとはいえないと、冷めた目で見えています。「収束」が虚しく響くほど本県に残された爪跡はあまりに大きく深い。国や東電が前面に立たなければ道はできないのに、はや舞台から降りようとしている。

今回の避難者等への賠償指針の決め方も拙劣で機械的。早く片づけて店じまいしたいとの意図が透けて見える。放射能による健康不安を懸念する生活。「福島」というだけで偏見や差別の目にさらされている。ひとしく県民は被害者であり、県をあげて復興に気力をふりしぼる大事なときに、県内を分断するやり方は許せない。苦しむ人たちに寄り添うどころか、一刀のもとに切り捨てる冷たさ。被災県を軽んじているか、不信の目で見ているとしか思えない。

今、放射能という妖怪に翻弄されている福島を支援するための法律が準備されている。時が移り内閣が変わっても、引き続き国の支援を引き出さなければならぬ。それには「福島再生法」が極めて大事で、これが復興の最後の砦になると思う。

実のある内容を盛り込むため、県は全ての力を集結し、国に迫るよう働きかけていくべきである。私たちの前には荒野が広がっている。しかし、世界が賞賛したように、福島県にも白河にも、誠実で公共心に富んだ、名もなき英雄がいます。皆さんと手を携え、確かな明日へ向けた歩みを進めていきます。